

令和6年皆野町議会第1回臨時会 挨拶

おはようございます。開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、令和6年第1回皆野町議会臨時会を招集しましたところ、議員全員のご出席をいただき開会できますことに御礼を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、常日頃から地域づくり、まちづくりに熱心に取り組んでいただき、心から敬意と感謝を表します。

さて、本臨時会は、令和6年3月24日に私が町長に就任して以降、初めての議会でございますので、所信の一端を述べさせていただきたいと思います。

今後の町政運営のキーワードは3つ。「対話」「チャレンジ」「幸せの向上」です。

1つ目の「対話」。まちづくりの主役は、町民の皆様です。町民との対話なくして、まちづくりは進められません。任期4年間の最初の1年は、特に対話に注力し、懇談会、企業訪問などを行い、今後の取組の礎としたいと考えております。

そして、対話をとおして、町民の皆様が町政、まちづくりをより身近に感じ、他人(ひと)事ではなく、自分事として捉えていただきたいと思います。また、町民の代表である議員の皆様とも積極的に対話をしてまいります。行政と議会は車の両輪。町民の皆様の困りごと、町の課題を的確に把握し、建設的な議論を重ねながら実効性のある取組を進めてまいります。

2つ目の「チャレンジ」。私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。今日のベストは、明日のベストではないかもしれません。常により良いものを目指してチャレンジし続けることが必要です。

前例踏襲ではなく、温故知新。これまでの取組から新たな知見を得て、これからに生かしていく。私は、コツコツと小さなチャレンジを積み重ね、町の大きなワクワクにつなげていきたいと考えております。

そして、チャレンジは行政だけに向けたものではありません。私が掲げるまちづくりの合言葉は「みんなでみなの」。まちづくりの主役である町民の皆様の自主的、主体的な取組も大いに期待し、積極的に支援してまいります。

みんなで皆野を想い、関わり、より良い皆野町を創ってまいりましょう。

3つ目の「幸せの向上」。すべての取組のゴールは、町民の皆様の幸せの向上です。例えば、観光客何万人達成がゴールではありません。そのうちどれだけの人が町内の飲食店等を利用するか、町に潤いをもたらしてもらえるのかをゴールとすべきです。どうすれば1か所ではなく、2か所以上巡ってもらえるか、日帰りではなく、宿泊をしてもらえるか。観光に限らず、産業の振興、福祉、教育の充実など、あらゆる分野において、皆様と対話しながら、知恵を絞って、幸せの向上をゴールとして形作っていきたいと思います。そしてその取組は、皆野町という「点」ではなく、秩父地域の市町村等との「線や面」のつながりの中で進めることで、より大きな成果が得られるものと考えます。私は、そのつながりを創る町の営業マンとして幅広く活動してまいります。

任期の4年間はもちろん、中長期的な視野を持って、「対話→チャレンジ→幸せの向上」のサイクルを、改善を重ねながら繰り返すことで、まちづくりの好循環を生み出してまいりたいと思います。

令和6年度の当初予算は、通常とは異なり、経常的な行政サービスの提供に必要な経費に絞った、骨格予算として編成しております。現在、その骨格予算に、これからのチャレンジに向けた予算、政策的な経費を肉付けするための補正予算の編成作業を進めており、6月定例会での上程を予定しております。

地元企業の支援の充実、空き地・空き家を活用した起業・企業誘致の促進、町内外の人が集い交流するイベントの開催による賑わいの創出、他市町村、鉄道事業者等と連携した観光の推進、出生数の増加と移住・定住の促進、地域・民間とも連携した「生きる力を育む」教育の充実、誰もが利用しやすい公共交通の実現、高齢者の健康長寿と活躍の促進、地域の行事や活動の促進とその支援の充実、そして役場窓口サービスの向上など、取り組むべき課題は数多くあります。その課題解決に向け、6月の補正予算に計上し、早期の着手を図りたいもの、今後の十分な対話を経た後に予算化を図るべきものなど様々ですが、「まず町が動く、町から働きかける」という積極的な姿勢で、これからのまちづくりにチャレンジしてまいります。

チャレンジとは、前例のない試行錯誤。だからこそ小さなチャレンジから始め、時には失敗から学ぶことも許容し、歩みをとめることなく、「ワクワクするまち皆野」の実現に向かって、邁進してまいります。

町民の皆様、議員の皆様とともに、職員と力を合わせて全力で取り組んでまいります。どうぞご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本臨時会の町長提出議案は、附議事件一覧表のとおり、副町長の選任を含む5件でございます。ご審議を賜り、承認・同意をいただきますようお願い申し上げます。挨拶といたします。